

ゲートボールで全国の頂点に立つ

全国選抜大会で 黒埼大野との二チームが優勝

五月十八日十九日、高知県香野町で開催された第六回全国選抜ゲートボール大会に、新潟県代表として出場した黒埼大野チームと黒埼くろがねチームが全国優勝の栄誉に輝きました。大会史上初のニクラス二チームの優勝です。どちらも昨年七月、新発田市で開かれた県大会で優勝し、この全国大会に出場したのも、県内での強さには定評のある黒埼町のゲートボールですが、これにより全国の頂点に立ったわけですから、選手、観客の皆さんにお話をうかがいました。(司会・教育委員会佐久間)

県大会で優勝されたあと、町長をまじえ座談会を行いました。全国大会に向けての抱負をうかがったところ「県の代表として恥じないよう」「慣れないので雰囲気による」



全国大会で、入場行進を前にした皆さん

ゲートボール協会の会長はじめ役員の方々、ひいては協会全体のバックアップがあったからこそ、雰囲気、勝利といえる。同時に選手一人一人が、個々の持っている力を最大限に発揮し、協力し合ったチームワークの勝利であった。木口 大野チームと同様、個々の選手はすばらしい力を持った人ばかりで、選手すべてが一打一打考えながら、まともに打つことが勝負ではないでしようか。

「惜しくも優勝は逃したものの、健闘された鳥原レディースの皆さん、全国大会に出場しての感想は。」



全国大会に出場された選手と町体育協会長、町ゲートボール協会長(6月11日、総合体育館2階会議室)

第6回 全国選抜ゲートボール大会 出場者

- ▶男子シニア(優勝) 黒埼大野チーム 東條光雄、中野達雄、玉木国作、松井常雄、鈴木藤一、橋爪八左衛門、遠藤正四
- ▶男子ミドル(優勝) 黒埼くろがねチーム 木口昭六、森田嘉夫、若林敏、佐々木武、田中忠平、高橋孝一、大庭敏夫
- ▶女子ミドル 黒埼鳥原レディース 戸沢セン、川合悦子、笹川トトリ、杉本かおる、笠原喜久、白井アキ

※広報くろさき1990年9月号に要旨を掲載

試合には細かな技術を

「全国大会に向けてふだんの練習に工夫を加えたことは、木口 特に内容に工夫はないが、選手の多くは仕事を休んで練習している。早朝の五時から七時ころまで二時間程度練習しました。それと、ゲートボールは将棋と同じで、三手四手先まで読みなければならぬので、ふだんの練習や大会で養われたと思っっています。雨降らない限り、毎日練習しました。」

東條 ゲートボールは玉を打って当てるというところが、楽しい。ただ打って当てるだけの練習ではダメ。コートの上で、細かい技術を養っていかなくては試合では勝てない。戸沢 昼間は家事などでなかなか練習に出ていけないので、やはり早朝2時間半くらい練習しました。玉木 今回出場したチームのメンバーは、常にいっしょに練習している者ばかりではなかったが、それでも優勝できたのは、選手それぞれが監督を務めることのできる人たちが、それぞれが監督をやるからだと思います。ですから、全国大会の

ための練習により培われた勝負のカンのようなもの、それに長けていたと思います。ふだんの練習のたまものというところですが、練習中にケガをされることなどは、東條 ポヤツとしてと玉がぶつかりたりすることもあるが、それ以外ほとんど心配ない。むしろ、朝早く起きて適当に体を動かすことが、ひじょうに健康にいい。ここ何年かカセもひいたことがないという人が大勢いる。

ゲートボールの魅力は

「最後にゲートボールの魅力についてお聞かせください。」

玉木 一言でいえば、玉を当てることのおもしろさ、ゲートを通すことのおもしろさでしょうね。

中野 それと、ゲートボールを一つのゲームとしてとらえた場合、作戦とかかけひきなど、いろいろな場面によりよい対応をしてゆかなければならない。そういった奥の深さが魅力ではないでしょうか。東條 また、練習や試合、慰労会などを通して仲間づくりにもなります。

「いろいろな感想をお聞かせいただき、ありがとうございました。」

3 特別委員会を設置

議会6月定例会が開かれる

議会六月定例会が、六月十二日(水)から二十五日(火)まで開かれました。四月の町議会議員選挙後、最初の議会定例会です。

議案は平成三年度一般会計補正予算、都市整備基金条例の制定など町提出の十議案のほか、八件が審議され、すべて原案どおり可決されました。請願・陳情は請願が五件、陳情一件が提出され、請願四件が採択されました。

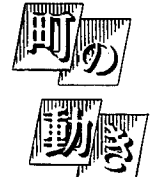
3 特別委員会を設ける

なお、議案のうち二議案は、次の三つの特別委員会を設けるものでした。

- ◆流域下水道推進特別委員会
- ◆流域下水道の建設に関することについて審査・調査を行います。
- ◆新潟市合併調査検討特別委員会
- ◆新潟市合併調査に関することについて審査・調査を行います。
- ◆新潟ふるさと村周辺地域振興対策特別委員会
- ◆新潟ふるさと村の周辺地域(○地域開発)に関すること、○交通安全対策に関すること、○環境衛生に関することについて審査

道下特別推進委員	◎大矢一夫	高橋博男	笠原満夫
新発市合併調査検討特別委	◎鷲尾六太郎	磯部	高橋喜一
新潟ふるさと村周辺地域振興対策特別委員会	◎坂井行康	成海仁助	志賀勝
	◎伊藤健三	渡辺みつ子	横山仁幸
	◎白川耕	山際輝充	川合敏秋
	◎明戸和枝	黒川	高橋勇
	江端年一	永井武弘	岩野昌弘
			宮田兼好

◎委員長 ○副委員長



町政の動きを知らせていきます。

叙勲

■勲五等瑞宝章



大橋憲司氏(寺地1059番地)

民生委員・児童委員を昭和二十二年九月から現在まで四十一年以上にわたって務められた。

■勲六等瑞宝章



(故)鈴木源吾氏(善久990番地)

黒埼村(町)議会議員を昭和四十一年から五十四年まで三期十二年にわたって務められた。

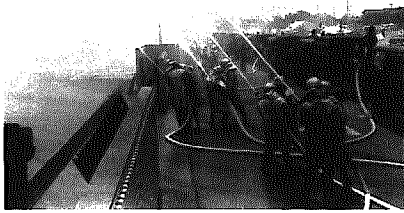
10人が一般質問に立つ

一般質問は二十一日(金)に行われました。十人の議員が質問に立ち、新潟ふるさと村のBo-in(まき)道路、老人福祉、環境問題、学校教育などについて、町長にたずねました。

なお、この議会六月定例会について詳しいことは、来月号でお知らせする予定です。

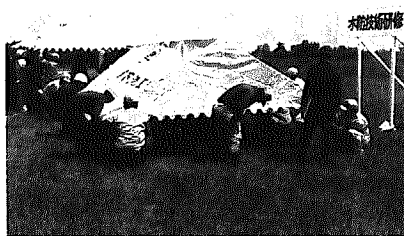
町内の消防団員全員集合

6月9日、消防団連合演習が総合体育館前の駐車場で行われました。年に1度、町内の消防団員全員が参加し、行われる演習です。(町内に8分団あり団員数225人) 服装や消防車両の点検、人員・車両の分列行進のほか、7月の郡大会に出場する第2分団による小型ポンプ操作の模範演習も行われました。



山田の河川敷で水防演習

5月28日、山田の信濃川河川敷で水防技術演習が行われました。建設省の信濃川下流工事事務所主催で、管内の建設・消防関係の職員約30人が集まりました。これから水害の季節を迎えますが、町の建設課職員と消防署員7人を含む参加者は、縄の結び方、土のうや杭のこしらえ方などの技術を熱心に学んでいました。



7月10日から税務署の窓口が変わります。

7月10日から所得税や個人に係る消費税は個人課税部門、法人税や法人に係る消費税は法人課税部門で担当することになります。変更後の主な窓口は右表のとおりです。詳しくは、お近くの税務署または税務相談室にお尋ねください。

ご 用 件	税務署の窓口	
	個人の場合	法人の場合
地価税についての相談	個人課税部門(資産税担当)	
消費税についての相談	個人課税部門	法人課税部門
源泉所得税についての相談	法人課税部門(源泉所得税担当)	
契約書や領収書の印紙税についての相談	法人課税部門(間接税担当)	
酒税の申告や免許についての相談	酒類指導官(所轄税務署に酒類指導官が置かれていない場合は、法人課税部門)	